

## マイナビ進学会員定期調査《2022年8月》

### 報告書

マイナビ進学総合研究所では、進路を考える高校生に対し、高校生の意識や進路選択に関する状況などの把握をするために、マイナビ進学会員向けの定期調査を実施しております。2021年11月より公開し、今回が4回目の実施となります。

#### 【調査概要】

- 調査名 : マイナビ進学会員定期調査 (2022年8月)
- 調査方法 : メールにて調査告知を行い、WEBフォームにて回答
- 調査回収期間 : 2022年8月16日～2022年8月23日、  
2022年9月23日～2022年9月25日
- 調査対象者 : マイナビ進学会員の高校生
- 有効回答者数 : 1,674名 (3年生 : 847名 / 2年生 : 475名 / 1年生 : 320名 / 他 : 32名)

#### 調査結果トピックス

##### ・2022年8月時点で、53.6%の高校3年生が第一志望校を「最終決定」。

夏休みを経て、「決定したし、変更しない」の回答割合が前回32.5%から、+21.1ptの大幅進捗が見られた。

##### ・現時点で高校3年生が最も強く検討している入試方式は1位「一般選抜」、2位「総合型選抜（AO入試）」。

年内入試（総合型選抜＋学校推薦型選抜）を最も強く検討しているのは、57.3%という結果となった。

##### ★「直近の3か月で最も参考になった情報の“情報源”をお知らせください。」を定点調査に追加。

初調査では、高校3年生は「学校公式HP」、高校2年生・1年生は「進学サイト」が最多回答となった。

##### ★「今後の3か月で最も知りたい情報をお知らせください。」を定点調査に追加。

初調査では、高校2年生・3年生は「自分の学力との相性」、高校1年生は「学べる内容」が最多回答となった。

本データを出版・印刷物、WEBサイト等へデータを転載する際には、  
「マイナビ進学会員定期調査《2022年8月》」（マイナビ進学総合研究所調べ）と明記ください。  
資料に関するご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社マイナビ 未来応援事業本部 教育支援統括本部 マイナビ進学総合研究所

E-mail : ms-souken@mynavi.jp

URL: <https://souken.shingaku.mynavi.jp>

**INDEX****1 【定点調査】現在の進路決定・検討状況・・・P 3**

- ・あなたの進学先を、大学にするか、短期大学にするか、専門学校にするかについて検討状況を教えてください。
- ・あなたの進学先で学びたい分野・系統の検討状況について教えてください。
- ・あなたが文系の学部学科に進学するか、理系の学部学科に進学するかの検討状況について教えてください。
- ・第一志望学校の検討状況について教えてください。
- ・併願する学校の検討状況について教えてください。

**2 【定点調査】オープンキャンパス・体験入学への参加状況・・・P 6**

- ・大学・短期大学・専門学校のキャンパスで開催されるオープンキャンパス・体験入学に初めて参加した時期をお知らせください。（※オンライン開催のものは除く）\*
- ・学校キャンパスで開催されるオープンキャンパス・体験入学に今まで参加した学校数をお知らせください。\*
- ・あなたがオンラインでのオープンキャンパス・体験入学に初めて参加した時期をお知らせください。\*
- ・オンラインで開催されるオープンキャンパス・体験入学に今まで参加した学校数をお知らせください。\*

**3 【定点調査】就きたい仕事の検討状況・・・P 10**

- ・あなたの将来に就きたい仕事の検討状況をお知らせください。

**4 【定点調査】現時点で検討している入試方式・・・P 11**

- ・あなたが現時点で最も強く検討している入試方式をお知らせください。

**5 【定点調査】直近の進路調べ・進路検討アクション・・・P 12**

- ・あなたが直近の3か月で行った進路調べ・進路検討をお知らせください。
- ・直近の3か月で最も参考になった情報の“情報源”をお知らせください。 **New !**
- ・今後の3か月で最も知りたい情報をお知らせください。 **New !**

**6 【8月特別調査】新型コロナウイルスの影響・・・P 14**

- ・現時点で、自分の進路を考えることに関して、新型コロナウイルスの流行の影響を受けていると思いますか。
- ・新型コロナウイルス流行によって、進路選択に関することでどのような影響を受けていると感じますか。

「\*」を付した項目は2022年9月23日～2022年9月25日に調査を行っています。

## 1 現在の進路決定・検討状況

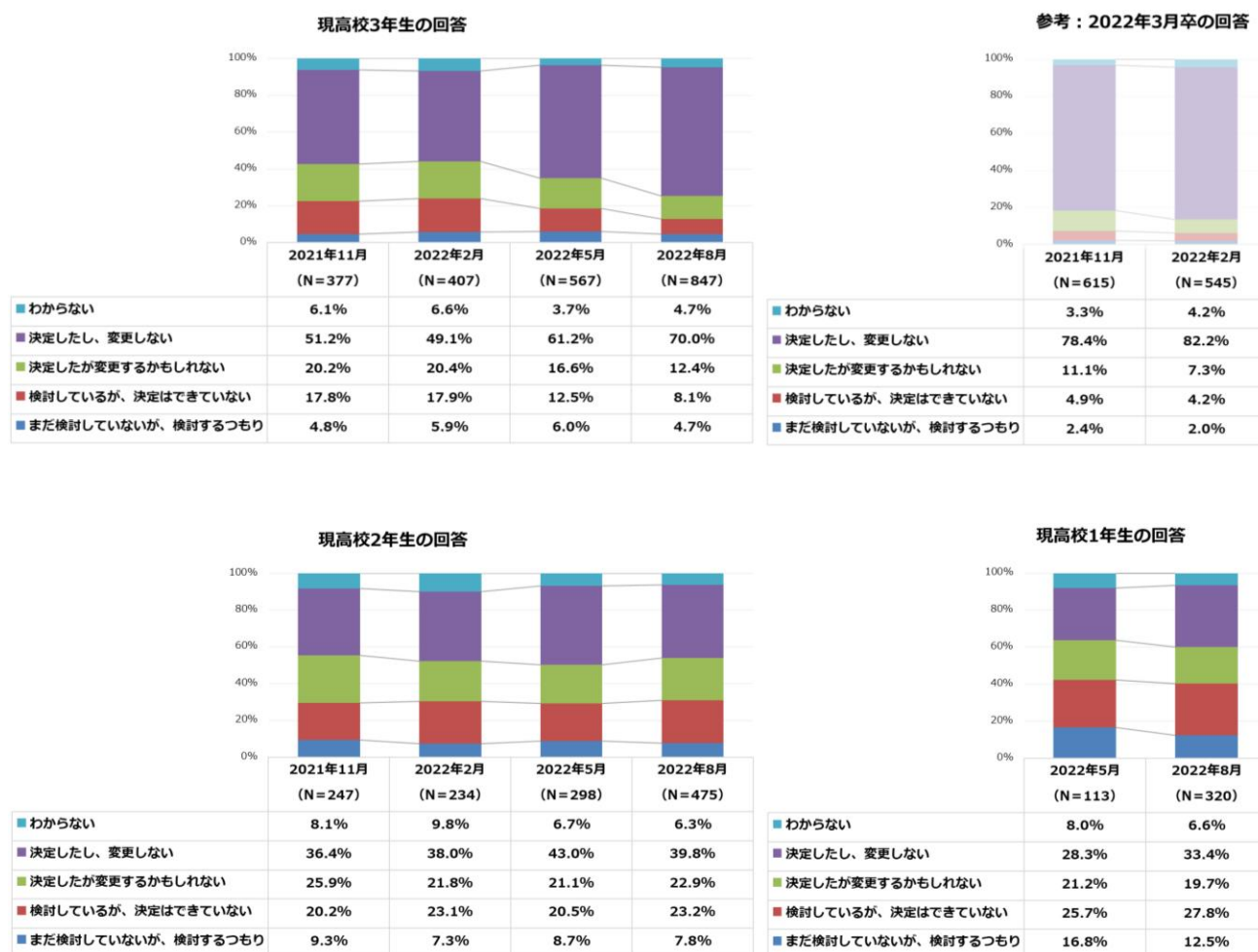
「進学先の種別」「学びたい分野」「進学先の文理系統」「第一志望」「併願学校」といった、進学先決定に関する諸項目の検討・決定状況を定点調査している。

### 夏休み中の進路検討を経て現高3生の「進学先種別」「学びたい分野」はほぼ決定。

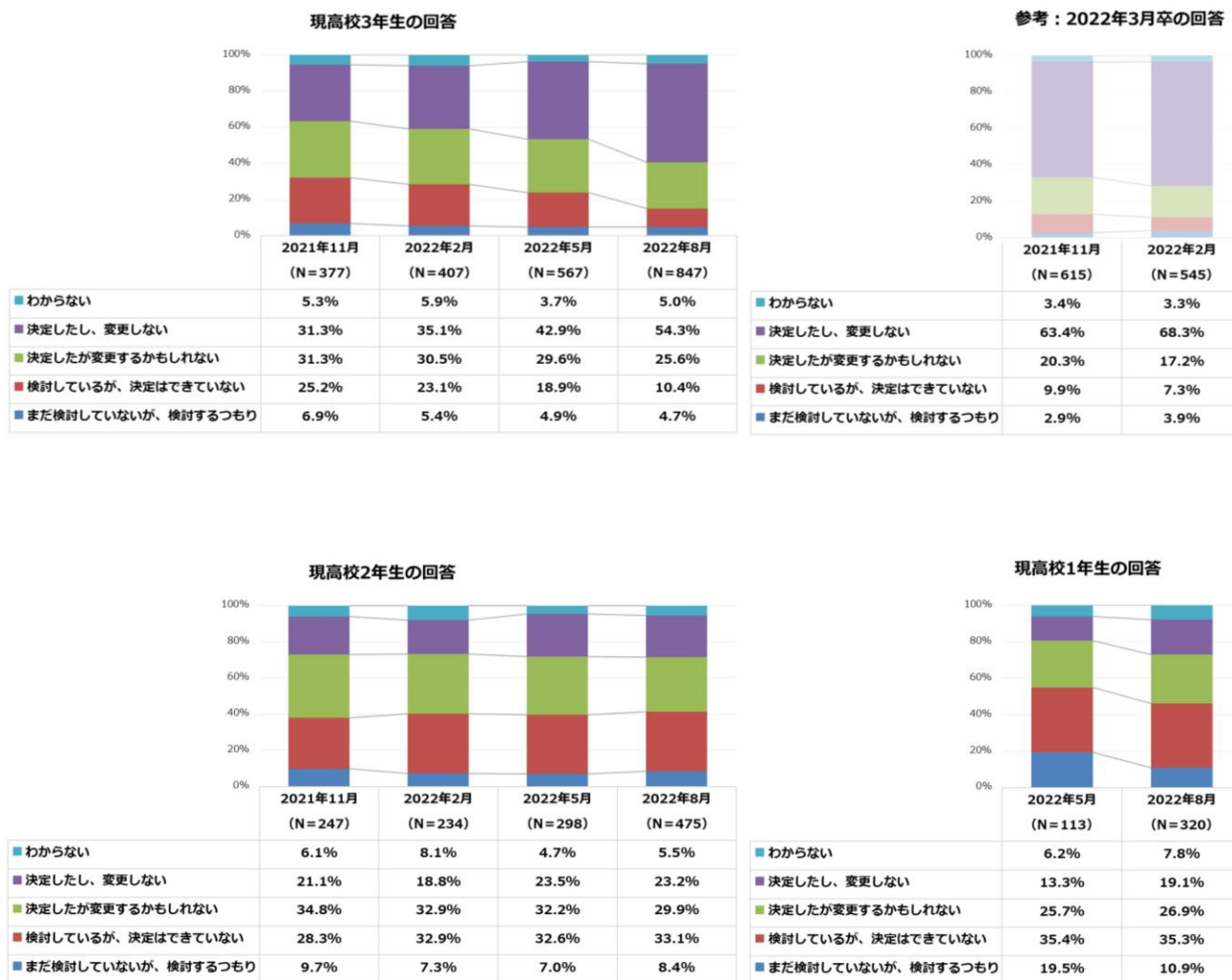
進学先種別（大学/短期大学/専門学校）の検討状況では、現高3生の「決定したし、変更しない」が前回調査から8.8pt増加。7割の生徒が進学先種別を確定させた。現高1,2生は大きな進捗は見られず。

学びたい分野・系統の検討においても、現高3生の「決定したし、変更しない」がさらに堅調に推移。「決定したが変更するかもしれない」も含めた“決定済み”の回答割合はほぼ8割となった。一方、現高2生の「決定したし、変更しない」は前回からほぼ進捗なく23.2%。「決定したし、変更しない」の昨年の高校2年生11月時点回答は31.3%なので、現高2生もこの秋の情報収集、分野検討で大きく進捗する可能性がある。

### ■ 進学先種別（大学／短期大学／専門学校）の検討状況



■ 進学先で学びたい分野・系統の検討状況

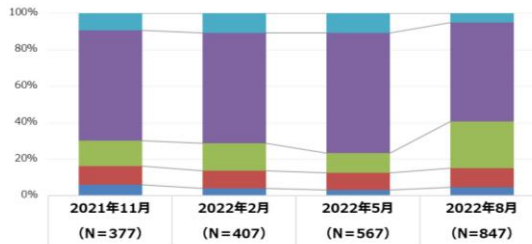


**第一志望校を決定した高校3年生が過半数に。高校1,2年生の早い動きも要チェック。**

文系理系いずれの学部学科に進学するか検討は、どの学年でも「決定したし、変更しない」が大幅に減少した。「決定したし、変更しない」以外のいわゆる「浮動層」が増えているが、理由は分析する必要があるようだ。なお、別設問の「分野選び」「第一志望校」においては、検討が進んでいる様子。第一志望校は、現高3生の「決定したし、変更しない」が21.1pt増の大幅進捗で、回答割合は過半数の53.6%となった。現高1,2生の「決定したし、変更しない」の回答はじわじわと進捗。前回レポート通り、やはり前年よりも動き出しが早そうな点に要注意。

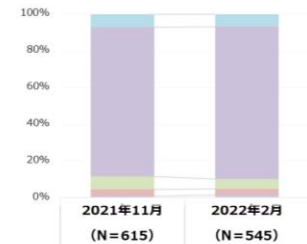
■ 文系の学部学科に進学するか、理系の学部学科に進学するかの検討状況

現高校3年生の回答



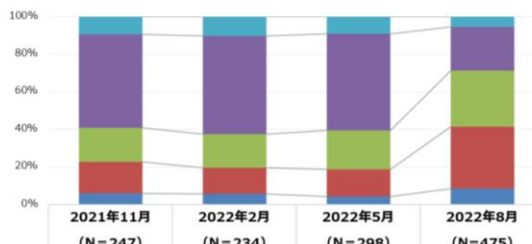
わからない	9.3%	10.8%	10.6%	5.0%
決定したし、変更しない	60.5%	60.4%	66.0%	54.3%
決定したが変わるかもしれない	14.1%	15.0%	10.8%	25.6%
検討しているが、決定はできていない	10.1%	9.6%	9.5%	10.4%
まだ検討していないが、検討するつもり	6.1%	4.2%	3.2%	4.7%

参考：2022年3月卒の回答



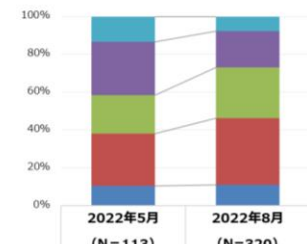
わからない	7.2%	6.8%
決定したし、変更しない	81.3%	82.9%
決定したが変わるかもしれない	7.0%	5.3%
検討しているが、決定はできていない	3.6%	3.5%
まだ検討していないが、検討するつもり	1.0%	1.5%

現高校2年生の回答



わからない	9.3%	10.3%	9.1%	5.5%
決定したし、変更しない	49.8%	52.1%	51.3%	23.2%
決定したが変わるかもしれない	18.2%	17.9%	20.8%	29.9%
検討しているが、決定はできていない	16.6%	14.1%	14.4%	33.1%
まだ検討していないが、検討するつもり	6.1%	5.6%	4.4%	8.4%

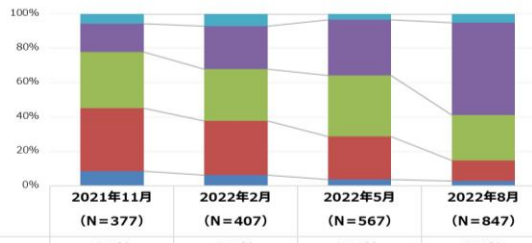
現高校1年生の回答



わからない	13.3%	7.8%
決定したし、変更しない	28.3%	19.1%
決定したが変わるかもしれない	20.4%	26.9%
検討しているが、決定はできていない	27.4%	35.3%
まだ検討していないが、検討するつもり	10.6%	10.9%

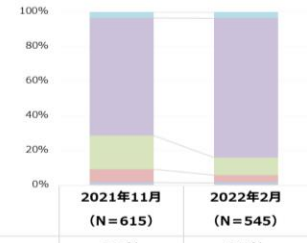
■ 第一志望学校の検討状況

現高校3年生の回答



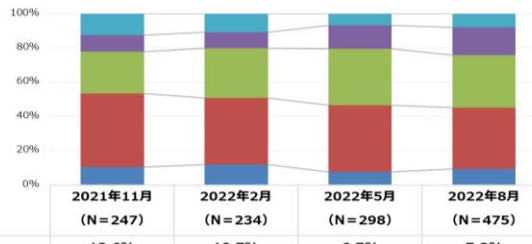
わからない	5.6%	7.1%	3.4%	5.2%
決定したし、変更しない	16.4%	25.1%	32.5%	53.6%
決定したが変わるかもしれない	32.9%	30.0%	35.4%	26.4%
検討しているが、決定はできていない	36.6%	31.7%	25.0%	12.0%
まだ検討していないが、検討するつもり	8.5%	6.1%	3.7%	2.7%

参考：2022年3月卒の回答



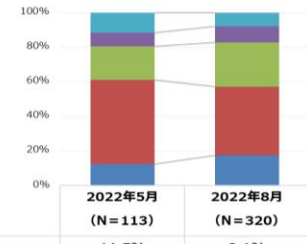
わからない	3.4%	3.5%
決定したし、変更しない	67.6%	80.4%
決定したが変わるかもしれない	19.5%	10.1%
検討しているが、決定はできていない	7.6%	4.4%
まだ検討していないが、検討するつもり	1.8%	1.7%

現高校2年生の回答



わからない	12.6%	10.7%	6.7%	7.8%
決定したし、変更しない	9.7%	9.4%	13.8%	16.2%
決定したが変わるかもしれない	24.3%	29.1%	32.9%	30.7%
検討しているが、決定はできていない	42.9%	38.9%	38.9%	35.8%
まだ検討していないが、検討するつもり	10.5%	12.0%	7.7%	9.5%

現高校1年生の回答

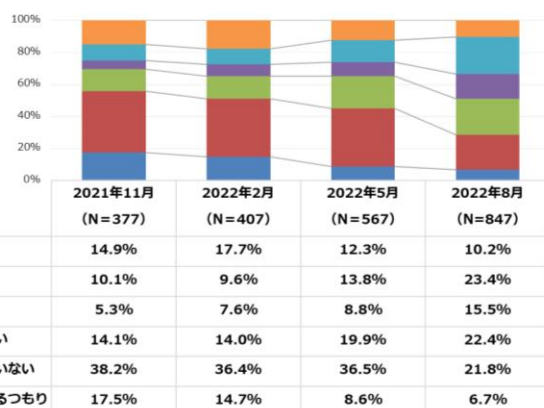


わからない	11.5%	8.1%
決定したし、変更しない	8.0%	9.1%
決定したが変わるかもしれない	19.5%	25.6%
検討しているが、決定はできていない	48.7%	39.7%
まだ検討していないが、検討するつもり	12.4%	17.5%

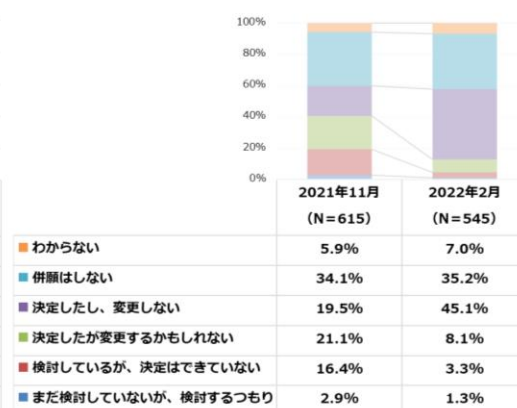


## ■ 併願する学校の検討状況

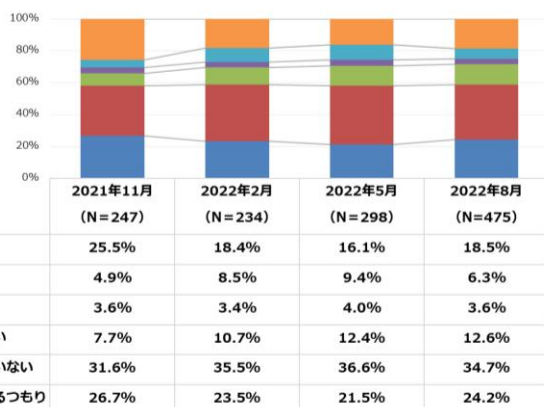
現高校3年生の回答



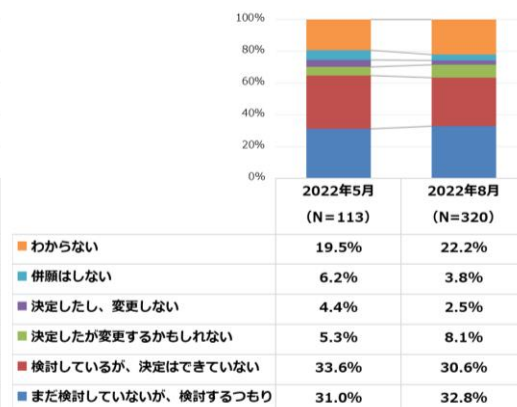
参考：2022年3月卒の回答



現高校2年生の回答



現高校1年生の回答



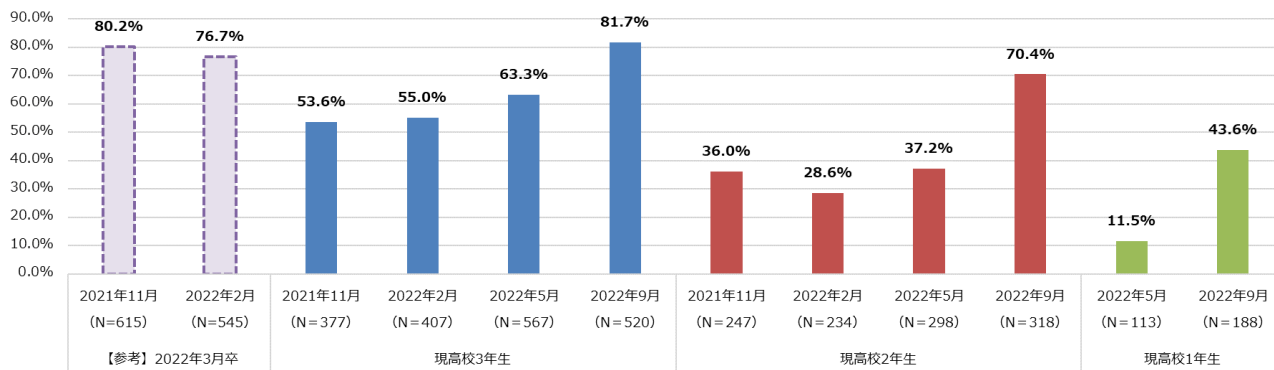
## 2 オープンキャンパス・体験入学への参加状況

イベント参加について、リアル・オンラインと分けて定点調査を行っている。調査項目は「初めて参加した時期」「参加校数」など。

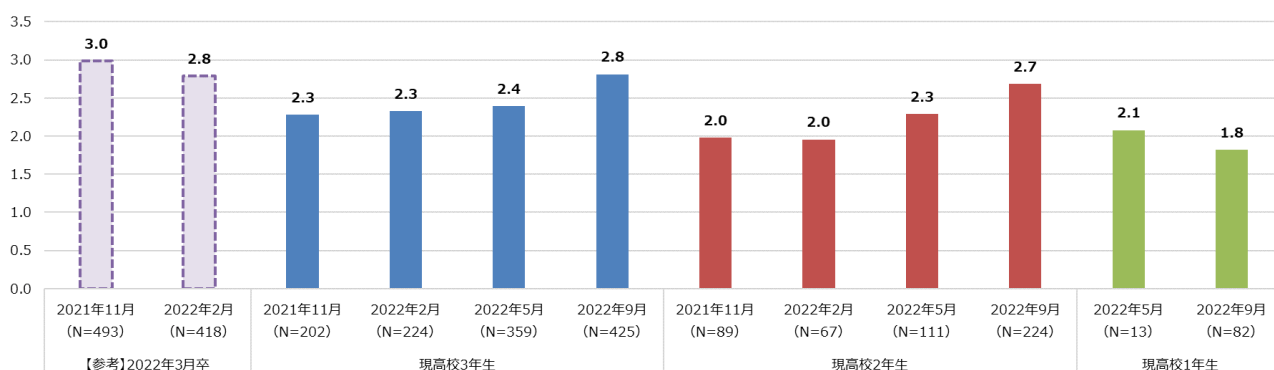
**リアルイベントに参加経験のある高校3年生は8割強。昨年の3年生の水準を超える。**

今回調査で、オンラインを除くリアルイベントに参加したことがある回答割合は現高3生で81.7%、現高2生で70.4%、現高1生で43.6%となった。どの学年も、昨年の同学年の水準を上回る参加割合となった。平均参加校数は現高2,3生で堅調に増加。特に現高2生の2.7校参加は、現高3生の2.8校参加と遜色ない結果に。オンラインに関しては、全学年で参加割合が堅調に増加。ただし前回調査から増加幅は、リアルイベントの方が大きい。オンラインは時期を問わず開催しやすいことの表れか。平均参加校数は学年を問わず約2.1~2.2校で推移し、伸び悩む。特別なイベントやコンテンツを投じるなど、新規参加者を増やす対策を講じたいところ。

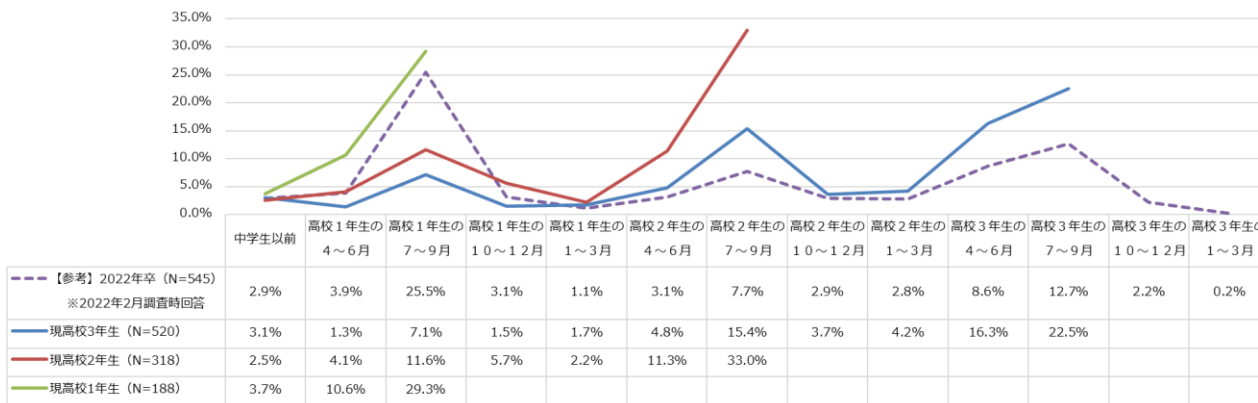
オープンキャンパス・体験入学に参加したことがある「割合」(※オンライン除く)



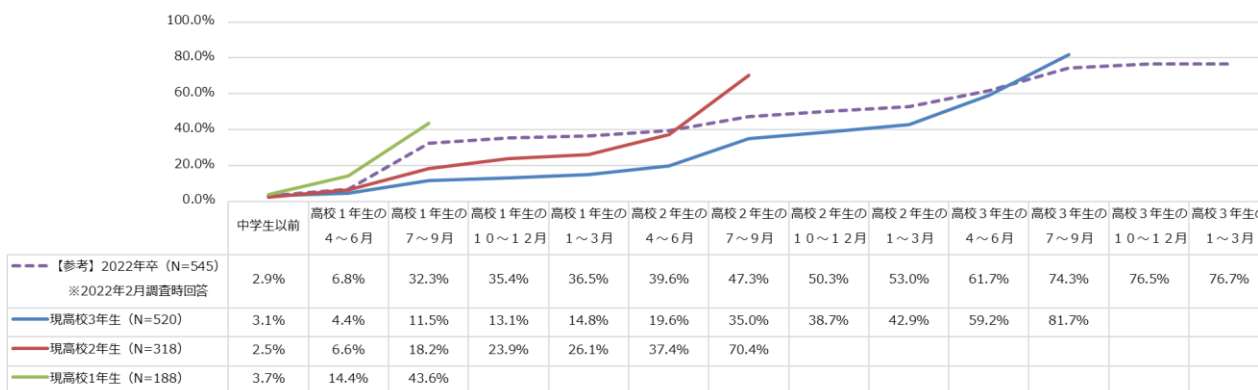
学校キャンパスで開催されるオープンキャンパス・体験入学に参加した「平均校数」(※オンライン除く)



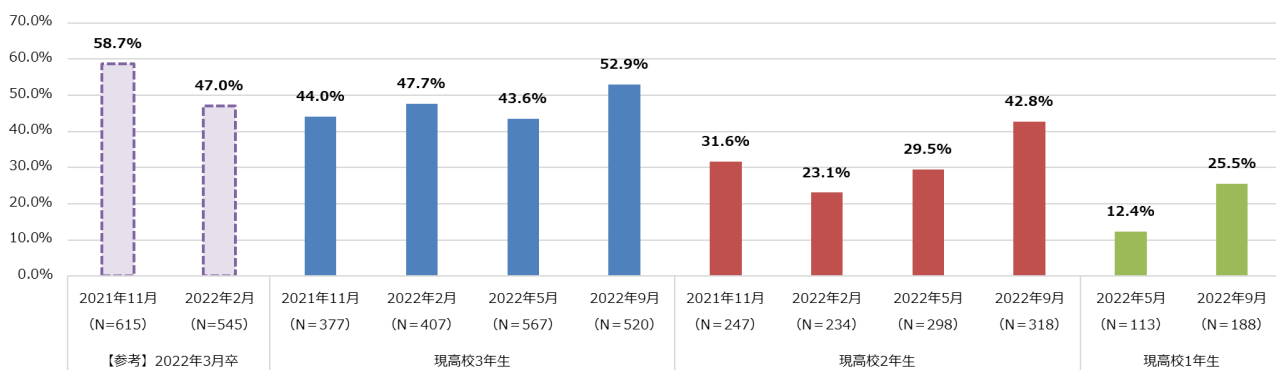
オープンキャンパス・体験入学に初めて参加した時期(※オンライン除く)



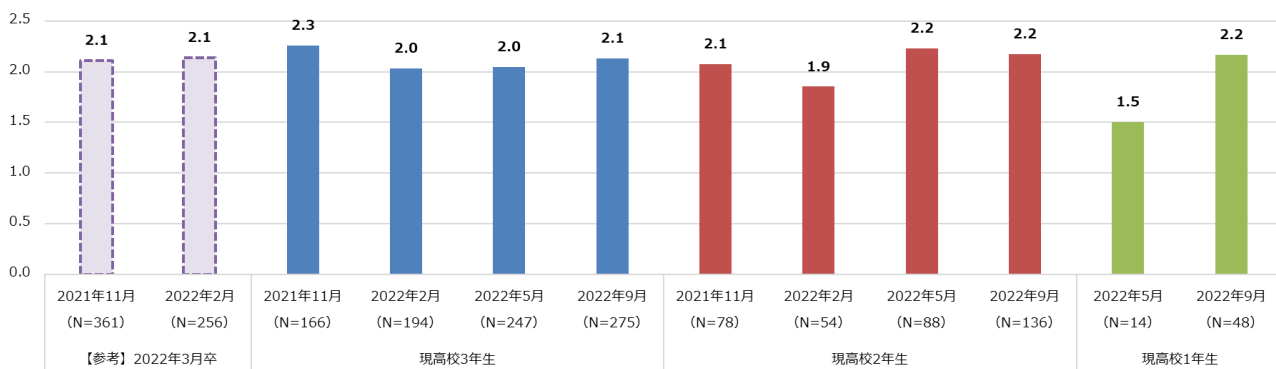
オープンキャンパス・体験入学に初めて参加した時期(※オンライン除く)【累計】



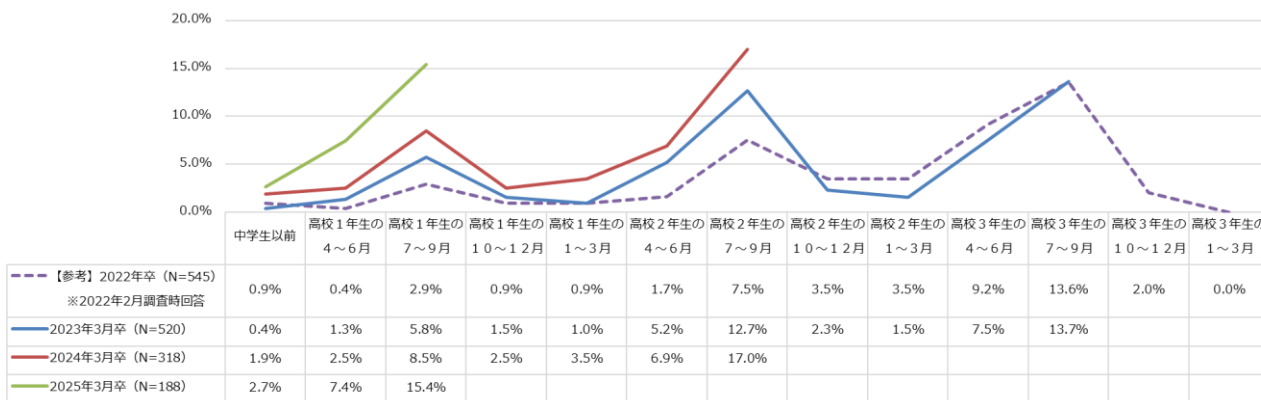
オンラインでのオープンキャンパス・体験入学に参加したことがある「割合」



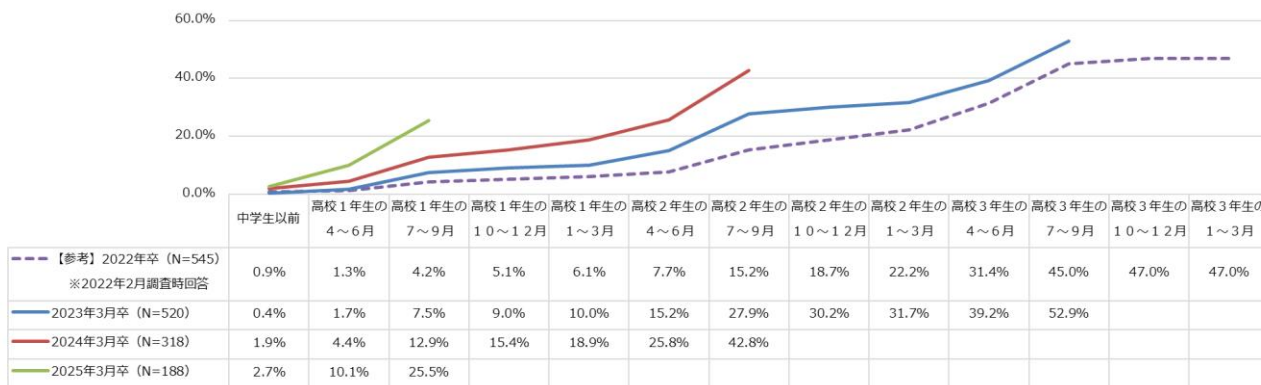
オンラインで開催されるオープンキャンパス・体験入学に今まで参加した「平均校数」



オンラインでのオープンキャンパス・体験入学に初めて参加した時期

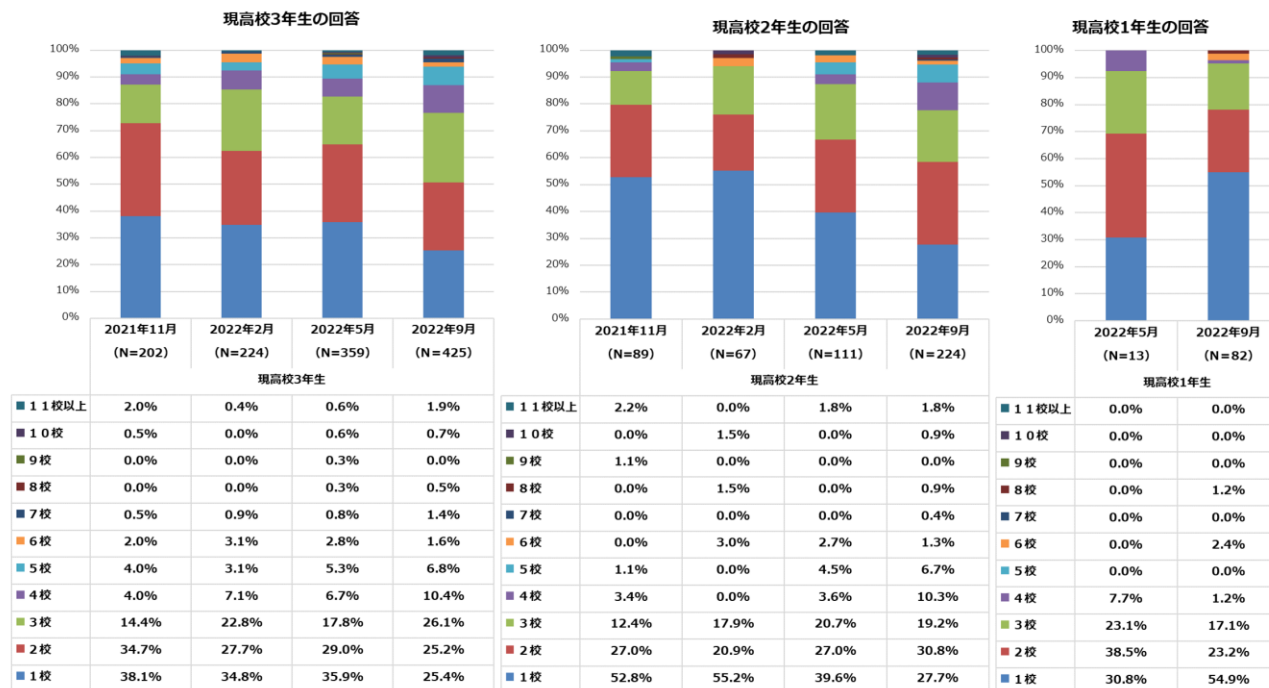


オンラインでのオープンキャンパス・体験入学に初めて参加した時期【累計】

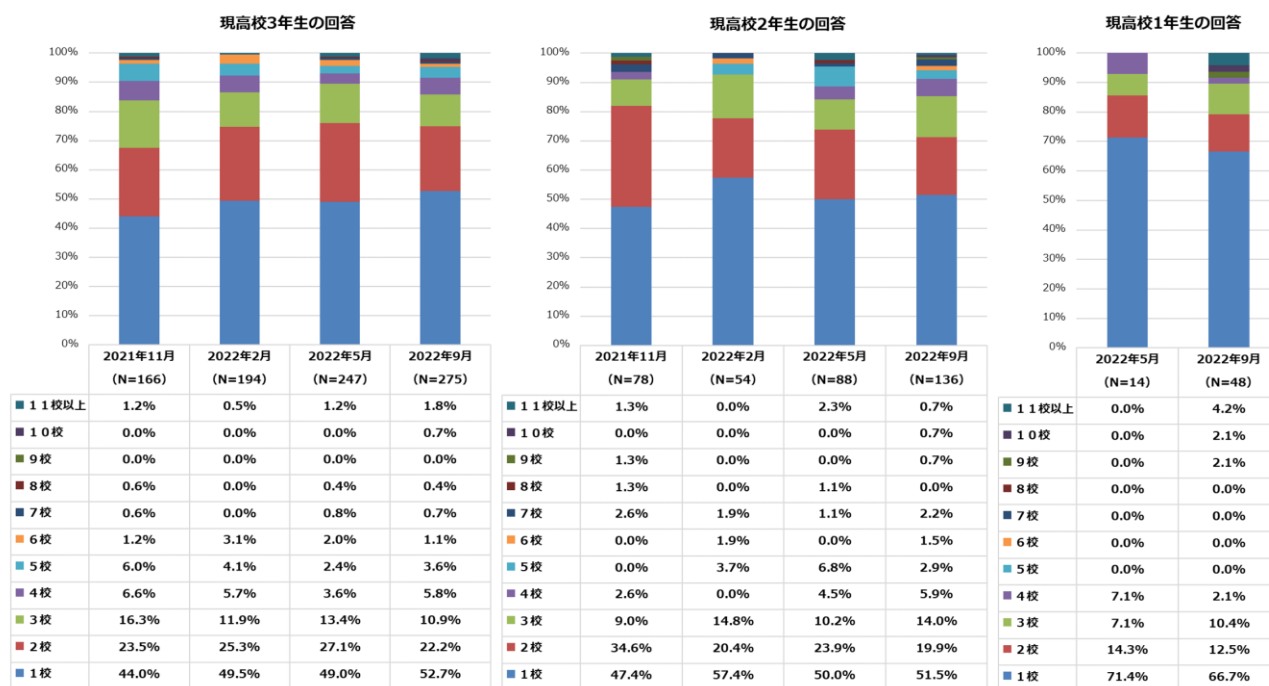




■ 学校キャンパスで開催されるオープンキャンパス・体験入学に今まで参加した学校数（※オンライン除く）



■ オンラインで開催されるオープンキャンパス・体験入学に今まで参加した学校数



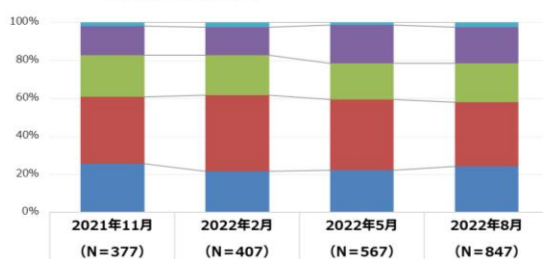
### 3 就きたい仕事の検討状況

#### 将来の仕事を本格的に決定させた高校3年生は全体の2割弱

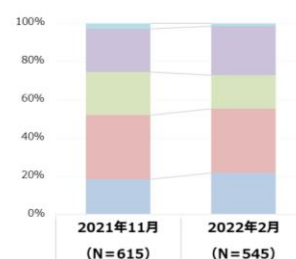
「就きたい仕事」の検討状況も、同様に定点調査を実施。夏のオープンキャンパスで分野選びや第一志望校選びに進捗は見られたものの、現高3生の「就きたい仕事」検討に進捗は見られず。一方現高2生の「決定したし、変更しない」は2.7pt、「決定したが変更するかもしれない」は3.6pt、それぞれ増加した。現高1生は、「検討している」が6.8pt増え「検討していない」が5.4pt減った。高校生活に慣れ、将来の仕事を検討し始めた様子が伺える。

#### ■ 将来に就きたい仕事の検討状況

現高校3年生の回答



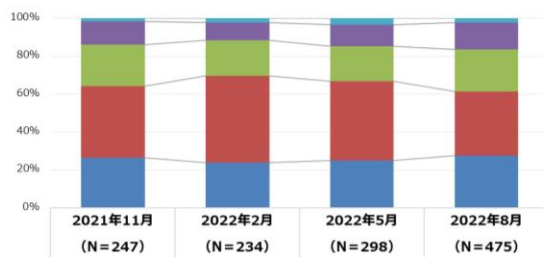
参考：2022年3月卒の回答



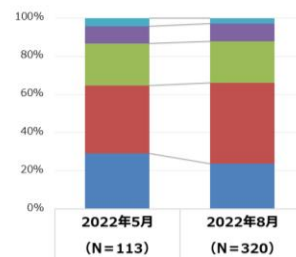
■ 就職しないつもり。わからない	1.9%	2.5%	1.4%	2.4%
■ 決定したし、変更しない	15.4%	14.7%	19.9%	19.0%
■ 決定したが変更するかもしれない	21.8%	20.9%	19.2%	20.5%
■ 検討しているが、決定はできていない	35.3%	40.3%	37.0%	33.8%
■ まだ検討していないが、検討するつもり	25.7%	21.6%	22.4%	24.3%

■ 就職しないつもり。わからない	2.9%	1.5%
■ 決定したし、変更しない	22.6%	25.7%
■ 決定したが変更するかもしれない	22.4%	17.4%
■ 検討しているが、決定はできていない	33.5%	33.6%
■ まだ検討していないが、検討するつもり	18.5%	21.8%

現高校2年生の回答



現高校1年生の回答



■ 就職しないつもり。わからない	1.6%	2.1%	3.4%	2.3%
■ 決定したし、変更しない	12.1%	9.4%	11.4%	14.1%
■ 決定したが変更するかもしれない	21.9%	18.8%	18.5%	22.1%
■ 検討しているが、決定はできていない	38.1%	45.7%	41.6%	33.9%
■ まだ検討していないが、検討するつもり	26.3%	23.9%	25.2%	27.6%

■ 就職しないつもり。わからない	4.4%	2.8%
■ 決定したし、変更しない	8.8%	9.4%
■ 決定したが変更するかもしれない	22.1%	21.9%
■ 検討しているが、決定はできていない	35.4%	42.2%
■ まだ検討していないが、検討するつもり	29.2%	23.8%

## 4 現時点で検討している入試方式

総合型選抜を検討する高校3年生が急増。学校側は丁寧な情報発信の準備を。

現時点でどの入試方式を検討しているかを定点調査している。前回調査同様、いずれの学年も「一般選抜」が最も高い回答割合となった。注目は現高2生の「総合型選抜（AO入試）」で、前回調査から3.4pt増となった。同時に、「わからない」の回答割合は前回15.2%から10.2%へと減っている。この動きは、前回レポートでの現高3生の動きと同じ。“今まで未検討だった”層から「総合型選抜（AO入試）」への新規流入と考えると、やはり出来る限り丁寧な入試情報の発信を心掛けたい。現高3生の回答割合に変化は見られず、入試方式は概ね決定している様子。

### ■ 現時点で最も強く検討している入試方式



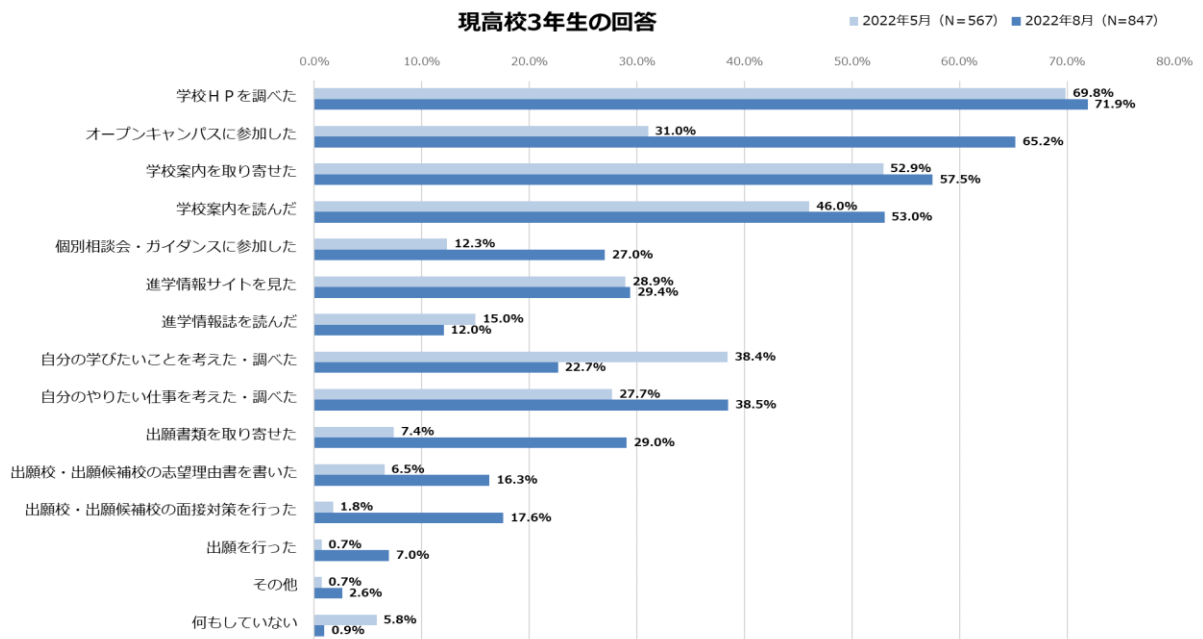
5 直近の進路調べ・進路検討アクション

過半数が「オープンキャンパスに参加した」と回答。1位はどの学年も「学校HPを調べた」。

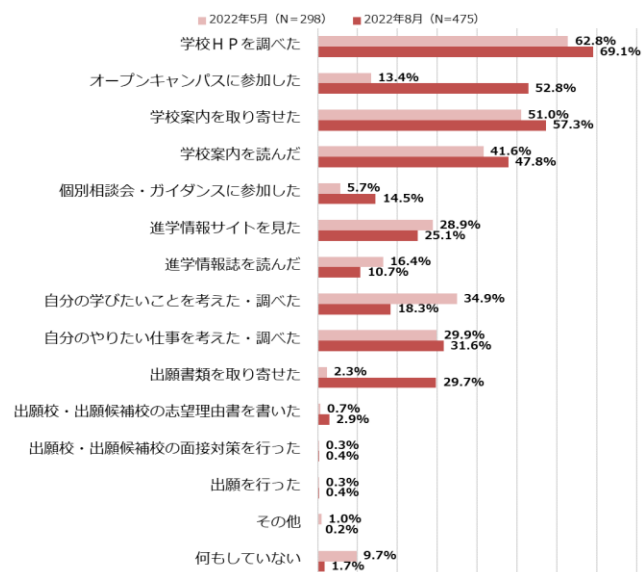
前回新設した「直近の3か月で行った進路調べ・進路検討について選択してください。」という設問。今回調査は主に6~8月の活動が調査対象となる。「オープンキャンパスに参加した」の回答割合が急上昇するのはいわずもがな。だが、「学校HPを調べた」がやはり1位で、現高1,2生では「学校案内を取り寄せた」が「オープンキャンパスに参加した」を上回っていた。いずれにせよ積極的な進路検討活動が伺えた。一方、現高2,3生では「自分の学びたいことを考えた・調べた」が大幅急落。現高3生は検討を終えたか。現高2生はP.3でも述べた通り、秋に検討する可能性あり。

■直近3か月以内の進路調べ・検討状況

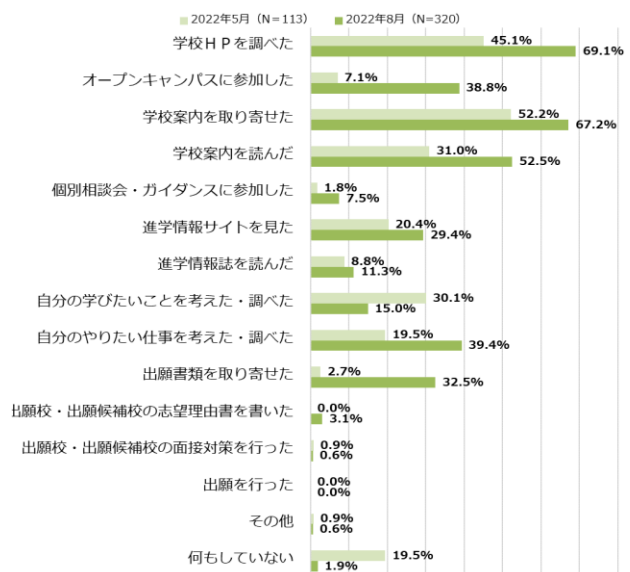
現高校3年生の回答



現高校2年生の回答



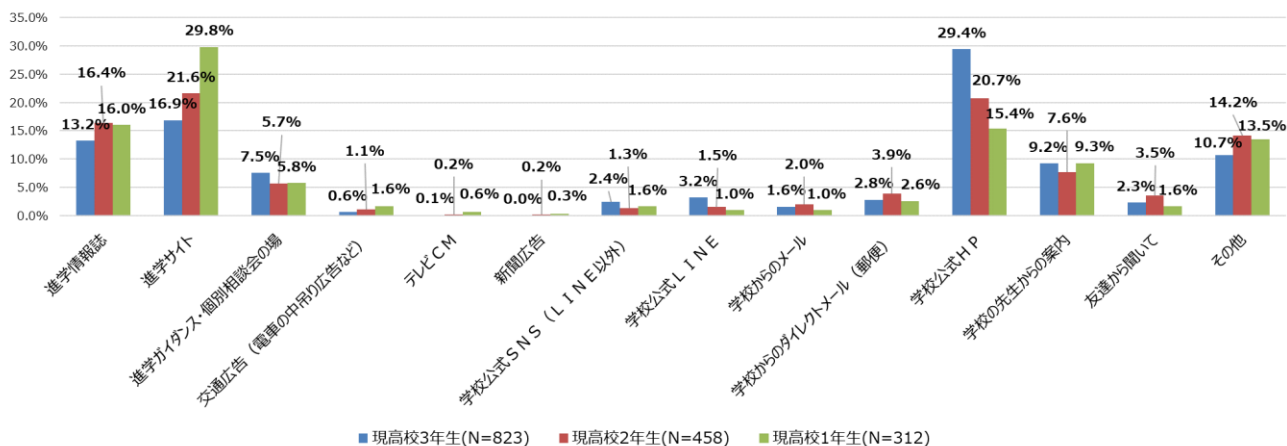
現高校1年生の回答



**この夏に最も参考になった情報源は高校3年生「学校公式HP」、高校1,2年生「進学サイト」**

今回から「直近の3か月間で行った進路調べの中で、最も進路検討の参考になった情報を得た情報源を1つ選択してください。」という設問を追加。今回調査は主に6~8月の活動が調査対象となる。「進学サイト」は学年が低い程ほど、「学校公式HP」は学年が高いほど参考になるという傾向がハッキリと表れた。次いで「進学情報誌」「学校の先生からの案内」の答割合が高かった。本設問も今後、時節によって傾向に違いがあるか、定点観測を行っていく。

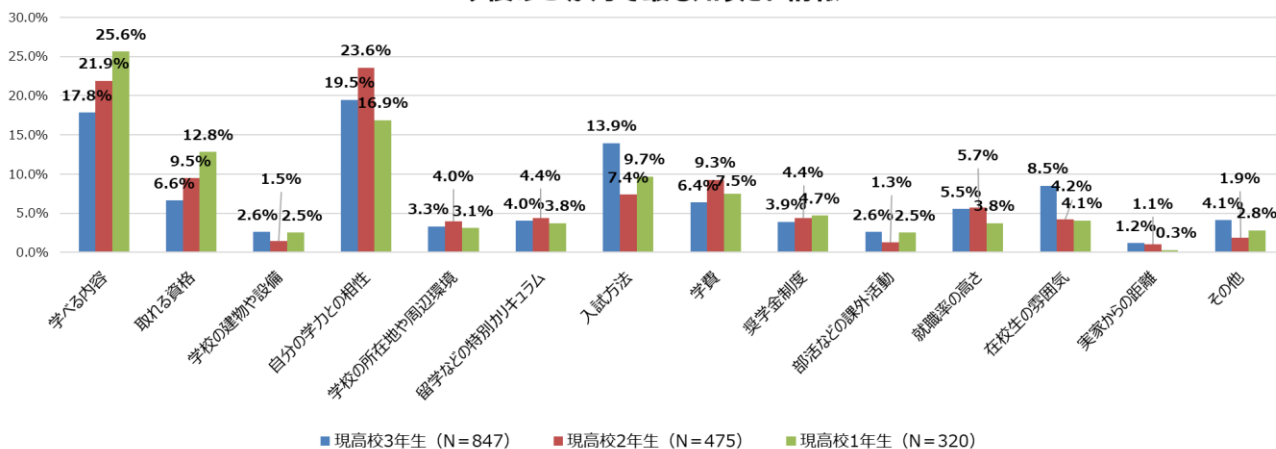
直近の3か月で最も進路検討の参考になった情報の情報源



**秋に求められる情報は高校2,3年生は「自分の学力との相性」、高1生は「学べる内容」が1位に**

今回から「今後の3か月間で最も知りたい情報を1つ選択してください。」という設問を追加。今回調査では主に9~11月に知りたい情報を選択してもらった。「学べる内容」は志望校選びで重視される項目だが、どの学年でも本設問の回答割合が高く、また学年が低いほど高い。現高3生では「自分の学力との相性」「入試方法」の回答割合が高かった。現高2生では「自分の学力との相性」「学べる内容」に次いで「学費」が第3位となった。今後、時節によって傾向に違いがあるか、定点観測を行っていく。

今後の3か月で最も知りたい情報





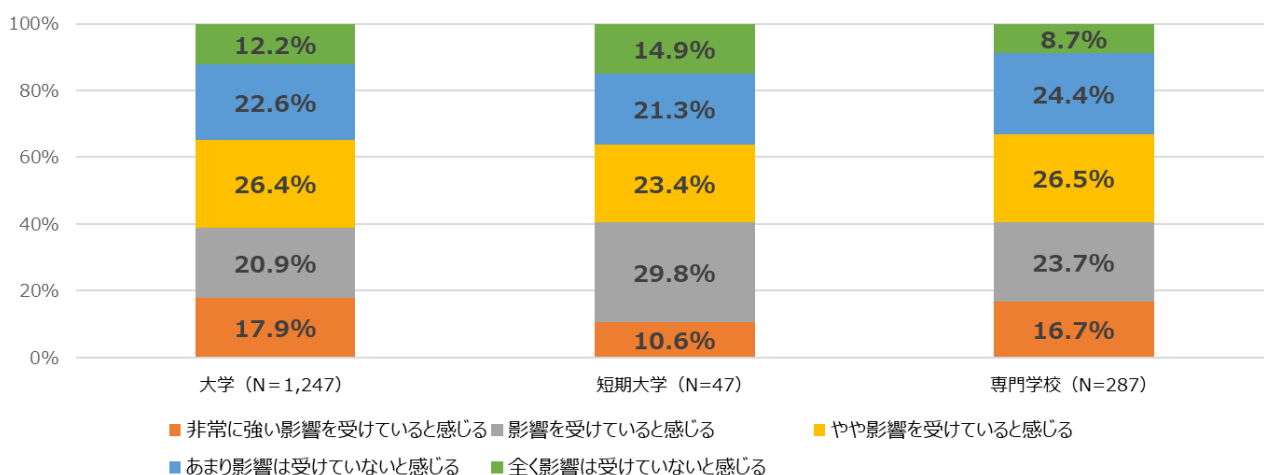
6 【8月特別調査】新型コロナウイルスの影響

新型コロナウイルスの影響は昨年度と比較し、かなり落ち着いた様子

新型コロナウイルスの感染者数は未だ大規模なものだが、この夏は3年ぶりに行動制限が解かれるなど少しずつ行動様式が戻りつつある。新型コロナウイルスの流行が進路検討に与える影響度とその内容についてアンケートを取り、昨年度の回答割合と比較した。結果、「非常に強い影響を受けていると感じる」「影響を受けていると感じる」の回答割合は、大学／短期大学／専門学校いずれの希望者であっても、昨年よりも回答割合が少なくなった。また、「学校を選ぶ方法の情報（学校のガイダンス等）が足りない」「オープンキャンパスや体験入学の機会が少ない（参加できない）」の回答割合はいずれの学年でも昨年より少なくなった。もはやコロナ流行を言い訳には出来ず、適時適切な情報発信で確実にイベント参加者数、出願者数を確保していきたい。

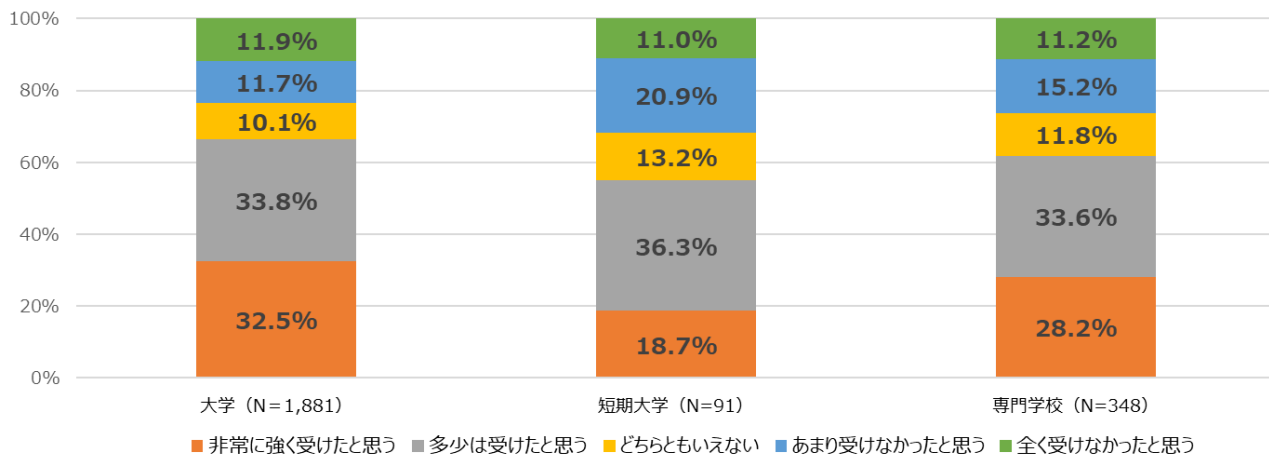
▼2022年8月実施「マイナビ進学会員定期調査」（今回調査）

新型コロナウイルスの流行が進路検討に与える影響（良い影響も悪い影響も含む）

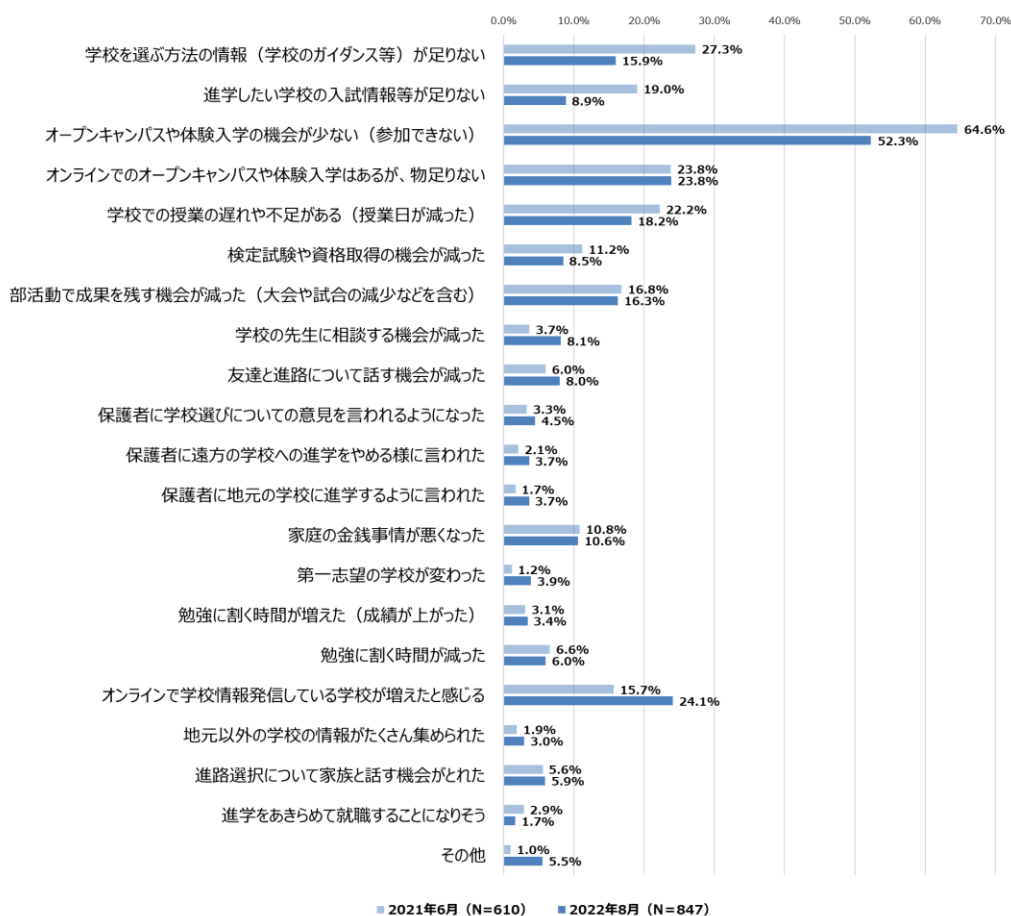


▼2022年3月実施「高校生の進路意識と進路選択に関するアンケート調査」（昨年度末調査）

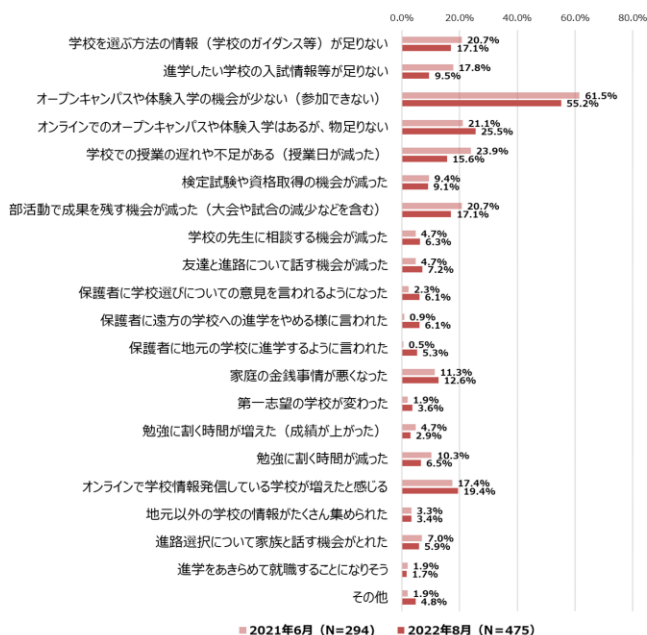
新型コロナウイルスの流行が進路検討に与える影響（良い影響も悪い影響も含む）



新型コロナウイルスの流行で受けたと感じる影響 (現高校3年生)



同調査 (現高校2年生の回答)



同調査 (現高校1年生の回答)

